

都道府県別賞一等

備えあれば憂いなし

埼玉県 久喜市立鷲宮東中学校 二学年

岩本 真優

あの日、いつも元気な母がとても暗い表情で目を赤くして帰ってきた。

「友達と今日ランチなの。」

と、今朝笑顔で話をしていた母の表情からは想像できない程の、まるで体中を黒いベールで包まれたかのように、全身から負のオーラが広がっていた。

「どうしたの?」

と聞くと、母の目から涙がこぼれ落ち、声がふるえ、聞きとれない。私は、何かいい事ではない報告に不安を覚えながら、母の言葉を静かに待った。

「友達がガンになったの。」

母の友達は十年來の仲良しの友達で、親友である。子供もいて、小さい頃はよく一緒に遊んでいた。私の事もすごくかわいがってくれて、いつも自分の子供のように接してくれていた素敵な人だ。

でも私は、それ以上の事は聞けなかった。

「どんな状況なの。ガンってレベルがあるんでしょう?助かるの?手術するの?治るの?また会えるの?」

って。でも、母も辛い事を知っていたから、二人で止まらない涙を必死でぬぐいながら、強く抱き合った。

それから、私はスマホで乳ガンについて調べた。ステージによって治療内容が違う事、手術を受けた後に放射線療法や薬物療法もある事、そして莫大な費用がかかる事。

その夜、母は家族会議を開いた。

「私の友達がガンになりました。親友からの伝言です。『現在加入している保険を確認して必ずガン保険に入って下さい』と言われてきたの。」

「彼女は、自分が今とても頑張っている状況なのに、私にそれを伝えるにきてくれたの。」

「ガンと宣告されて、何日も何日も泣いて、ようやくそれを受け入れて、頑張るしかない現実にもどった時、手術や治療にかかる莫大な金額が命とひきかえにかかる事を思い知らされた」と。

「でも、ガン保険に入っていたから、病氣と闘う事を安心して選択する事ができて、私の体と家族の未来を守る事ができたから、絶対に入ってほしい」と。

父と母は保険を確認し、うちもガン保険に入っている事がわかった。

第61回中学生作文コンクール

今回の事で、病気になると手術費用や入院費や治療費用など、莫大な金額がかかってしまう事を知った。仕事を休まなくてはいけない事、学費を払えなくなるかもしれないという不安、自分が病気になってしまった事によってかかる費用の不安や病气と闘うという気持ちのモチベーションも保険は補ってくれるんだなと思った。

母の親友をきっかけに、きちんと保険を確認でき、自分の未来も安心する事ができたので、感謝の気持ちでいっぱいになった。

母の親友は自分が辛くて大変な時に、母の事や私達家族の未来まで考えて、保険の事をすぐに知らせてくれました。私もいざという時の為に大切な友達の未来を守るように、『備えあれば憂いなし』という事を伝播していきたいと思います。